

愛Pが行く!!!

知立市の魅力発見旅 No.8

今回は歴史民俗資料館で3月末まで開催された「ひなまつり展」について取材してきました。昭和62年に開設した歴史民俗資料館では、昔の生活を知ることができる常設展や、「ひなまつり展」のような企画展など、見ごたえのある展示を楽しむことができます。

ひなまつり展について

平成27年から毎年開催されている人気の企画展です。明治時代の内裏雛や、大正時代から昭和30年代の源氏杵飾りや御殿飾りを展示しています。なお、展示されているひな人形は、すべて寄贈されたものです。今回の見どころは、佐合人形に協力いただいたひな人形の着付けについての展示、ひなまつりに関するクイズでした。



担当の方に聞きました

担当者：歴史民俗資料館 池崎さん

個人的なおススメは、土人形です。

土人形は土でできている分、ボロボロと壊れやすく取り扱いが難しいですが、庶民のひな人形として親しまれてきました。

愛知県では瀬戸焼や常滑焼など焼き物が有名ですが、良質な土がとれたため土人形も多く制作されました。土人形は地域によって差があり、三河地域のものは色が濃いなどの特徴があります。ぜひ見比べてみてほしいです。

ひなまつり展を通じて懐かしさと新しさ、日本の伝統文化や習慣の大切さを感じてもらいたいと考えています。親子三代で来館してもらうことで、家族で話してもらい、伝統の継承につながればと思います。



来場された方に聞きました

ひなまつり展を訪れた皆さんにお話を聞きました。

○歴史民俗資料館やひなまつり展に来るのは何回目ですか

- ・中学生のころからたびたび訪れており、今回で10回目くらい
- ・ひなまつり展に毎年来ている

○ひなまつり展は何で知りましたか

- ・広報ちりゅうで知りました

○実際に来てみてどうですか

- ・展示物がたくさんあって、各箇所飾ってあるパネルに見ごたえがある
- ・見ているとドキドキさせられる人形たちが飾られている
- ・昔のものと現代に近いものが飾られており、素晴らしい



編集後記

取材の中で池崎さんが「来館される方にはひなまつり展を通して懐かしいなと思うきっかけになってほしい、次の世代へ日本の伝統文化を受け継いでほしい」という思いを語っていたことが非常に印象的でした。また、雛人形にまつわるクイズの設置や他館とのスタンプラリーを開催するなど鑑賞だけではなく知識を深めることができ、かつ楽しめる工夫が随所に施されていました。生活様式の変化等から雛人形を飾る風習が消えつつある中、ひなまつり展に触れることで、美しい伝統文化を受け継いでいく人が少しでもいたらと思います。

